

霧島山の火山活動解説資料（平成 20 年 7 月）

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

新燃岳

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

7 月の活動概況

・噴気など表面現象の状況

遠望観測では火口縁を超える噴気は観測されませんでした。

・地震や微動の発生状況（表 1、図 2、図 3）

火山性地震の月回数は 4 回（6 月：4 回）と少ない状態で経過しました。火山性地震の震源はこれまでと同様、新燃岳付近のごく浅いところ（深さ約 1～3 km）に分布しました。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 4、図 5）

GPS による連続観測では、長期的には新燃岳の山体膨張を示す観測結果が得られていますが、2007 年 4 月頃からは伸びがやや鈍化しています。

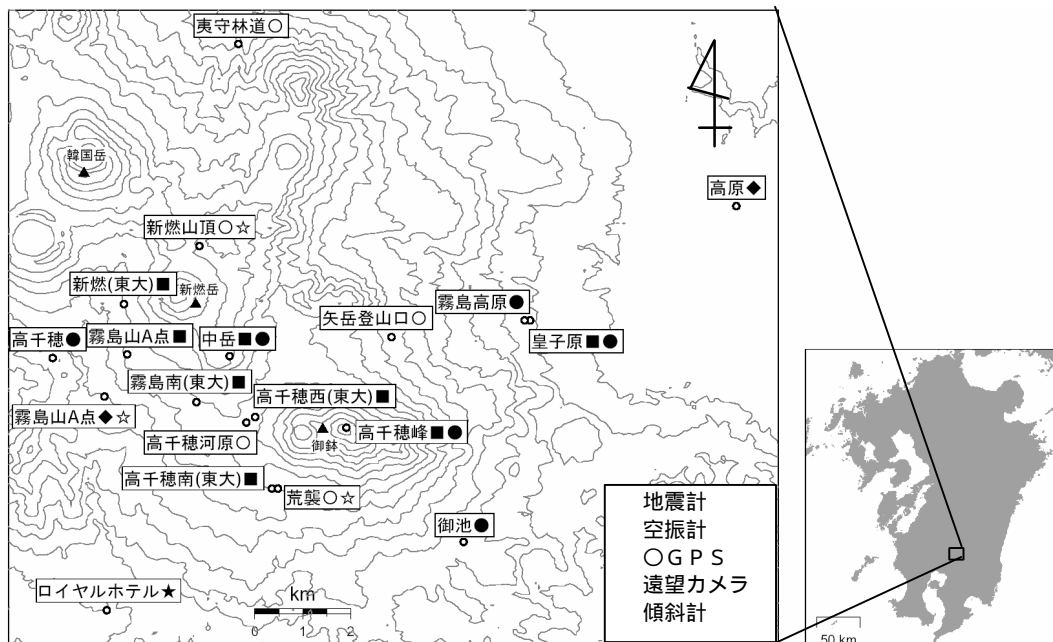


図 1 霧島山 観測点配置図

この資料は気象庁の他、東京大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」、「数値地図 10mメッシュ（火山標高）」を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区气象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)で閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成 20 年 8 月分)は平成 20 年 9 月 10 日に発表予定です。

表1 霧島山(新燃岳) 最近1年間の地震・微動回数(2007年8月~2008年7月)

2007~2008年	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
地震回数	163	35	54	21	118	2	3	13	19	25	4	4
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

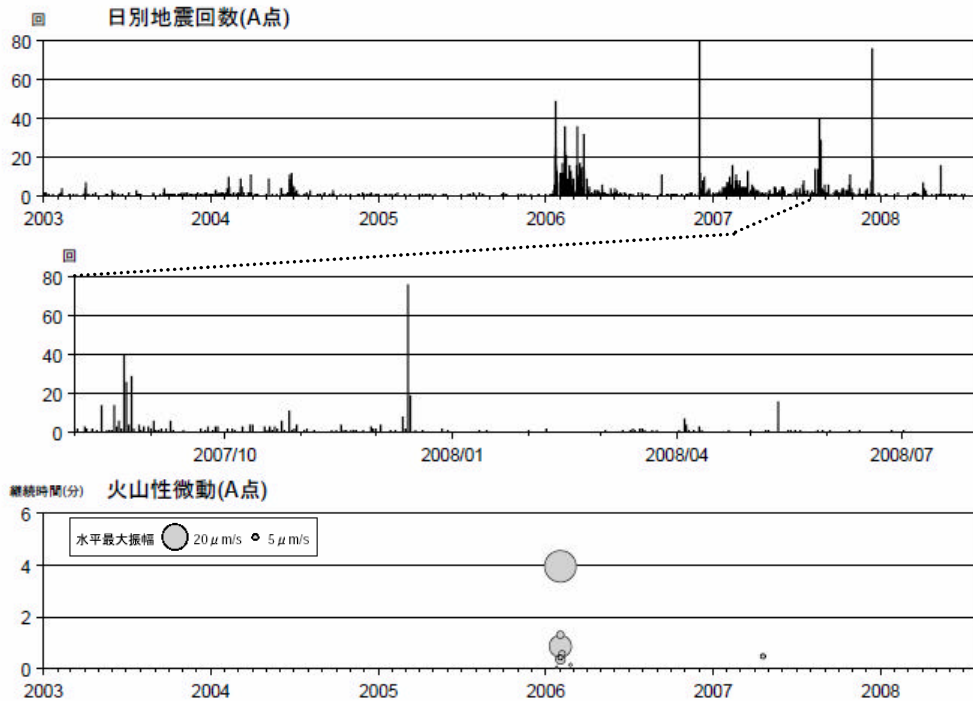


図2 霧島山(新燃岳) 地震・微動活動経過図(2003年1月~2008年7月)
 ・火山性地震の月回数は4回と少ない状態で経過しました。
 ・火山性微動は観測されませんでした。

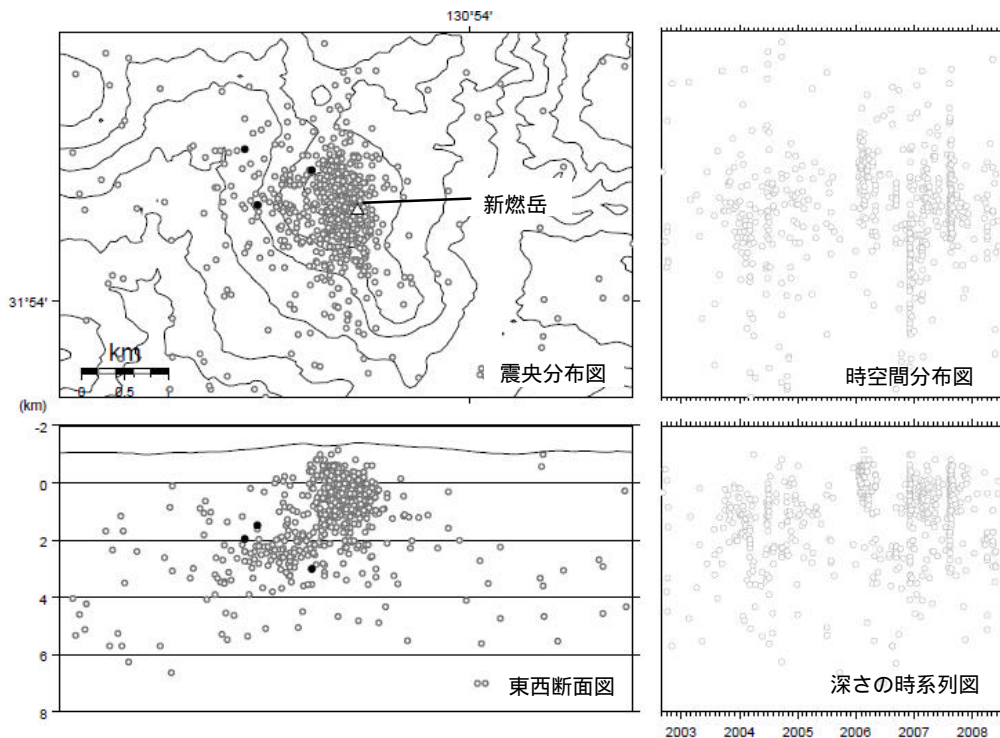


図3 霧島山(新燃岳) 震源分布図(2002年9月~2008年7月)
 今期間の火山性地震の震源は、新燃岳付近のごく浅いところ(深さ約1~3km)に分布しており、通常みられる範囲内でした。

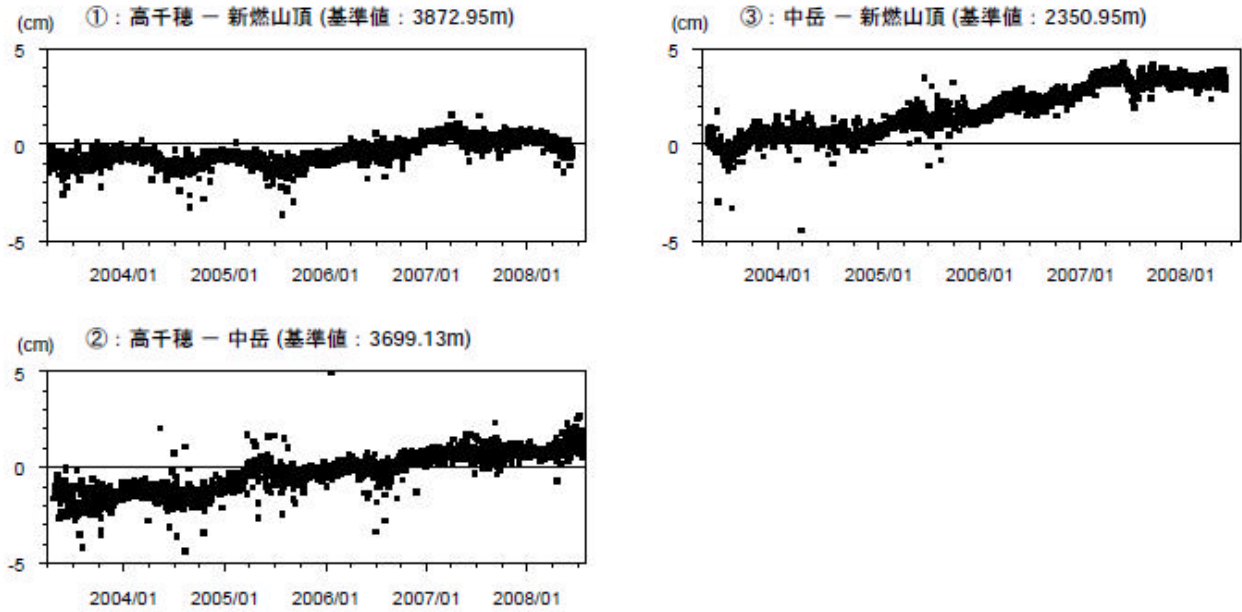


図4 霧島山(新燃岳) GPS連続観測による基線長変化(2003年4月~2008年7月)
 長期的には新燃岳の山体膨張を示す観測結果が得られていますが、2007年4月頃からは伸びがやや鈍化しています。

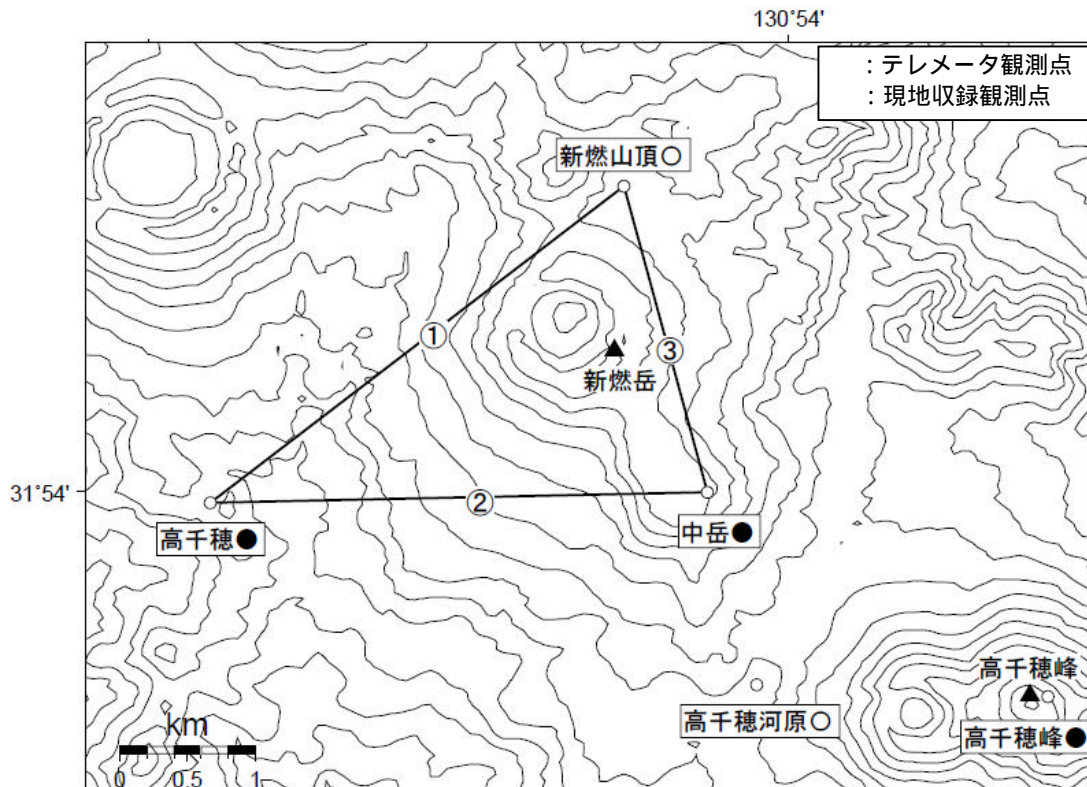


図5 霧島山(新燃岳) GPS連続観測点と基線番号
 新燃岳を囲んだ3観測点の基線による観測を行っています。
 この基線は図4の ~ に対応しています。

御鉢

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報(噴火警戒レベル 1、平常)を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

7 月の活動概況

- ・噴気などの表面現象の状況(図 6)

遠望カメラでは、火口縁を超える噴気は観測されませんでした。

- ・地震や微動の発生状況(表 2、図 6、図 7)

火山性地震の月回数は 1 回(6 月:5 回)と少ない状態で経過しました。今期間、震源の求まる火山性地震ありませんでした。火山性微動は観測されませんでした(6 月:1 回)。

- ・地殻変動の状況(図 8、図 9)

GPS 連続観測では、火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。

表 2 霧島山(御鉢) 最近 1 年間の地震・微動回数(2007 年 8 月～2008 年 7 月)

2007～2008 年	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
地震回数	1	11	9	0	3	2	3	5	7	0	5	1
微動回数	1	1	0	0	0	2	1	2	5	0	1	0

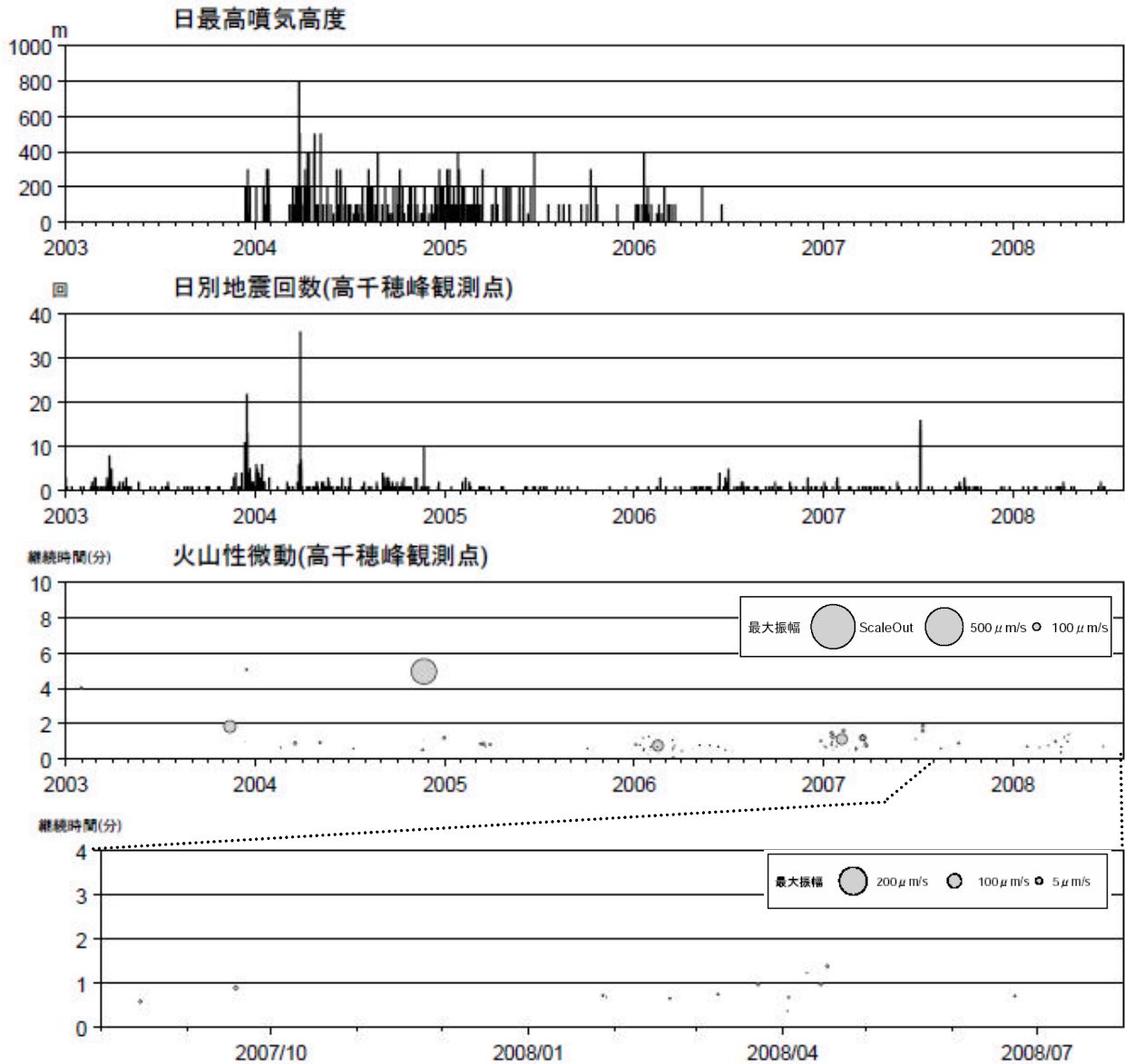


図6 霧島山(御鉢) 火山活動経過図(2003年1月~2008年7月)

- ・遠望カメラでは、火口縁を超える噴気は観測されませんでした。
- ・火山性地震の月回数は1回でと少ない状態で経過しました。
- ・火山性微動は観測されませんでした。

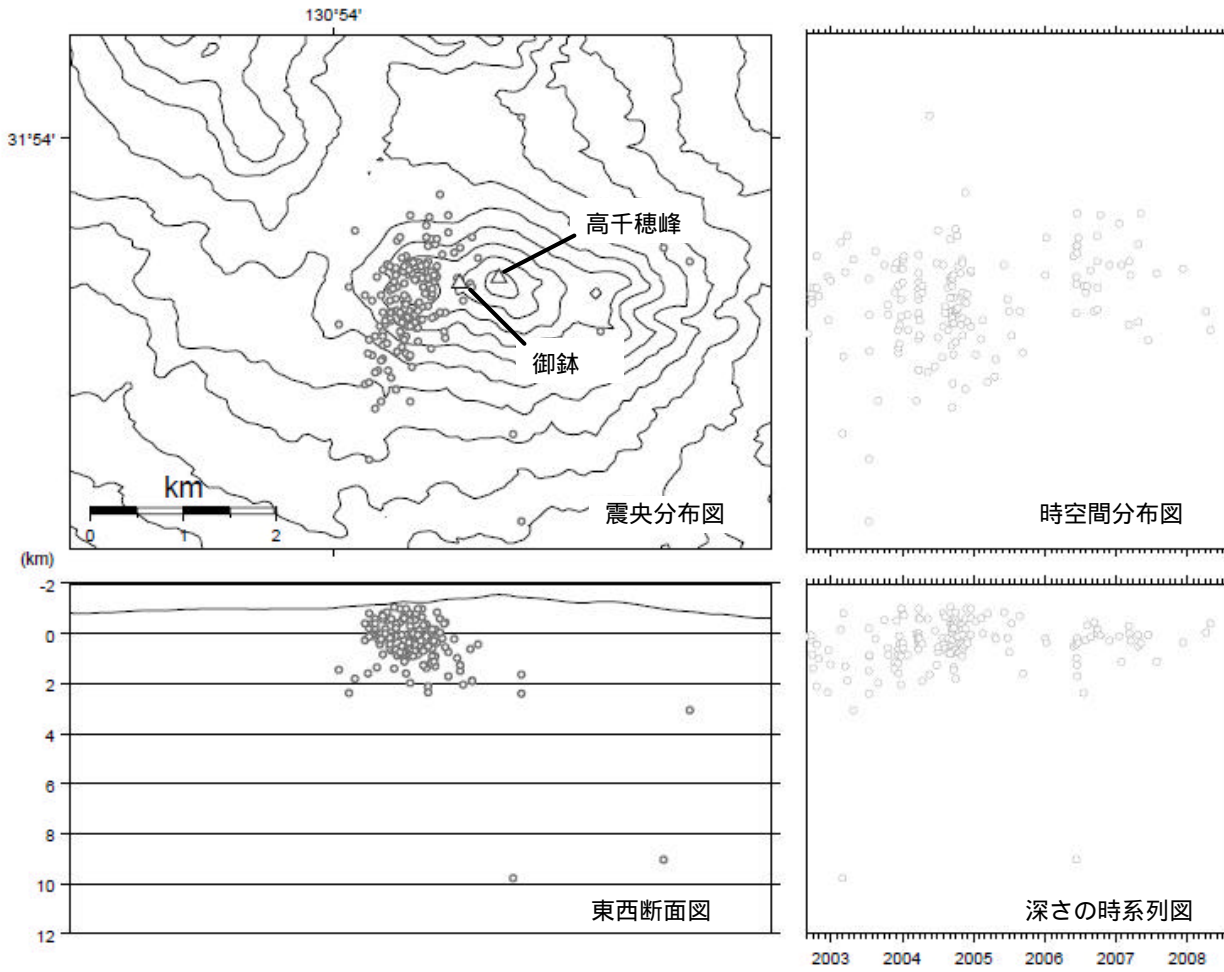


図7 霧島山(御鉢) 震源分布図(2003年9月~2008年7月)

今期間、震源の求まる火山性地震はありませんでしたが、これまで同様山頂直下のごく浅い所で発生したと推定されます。

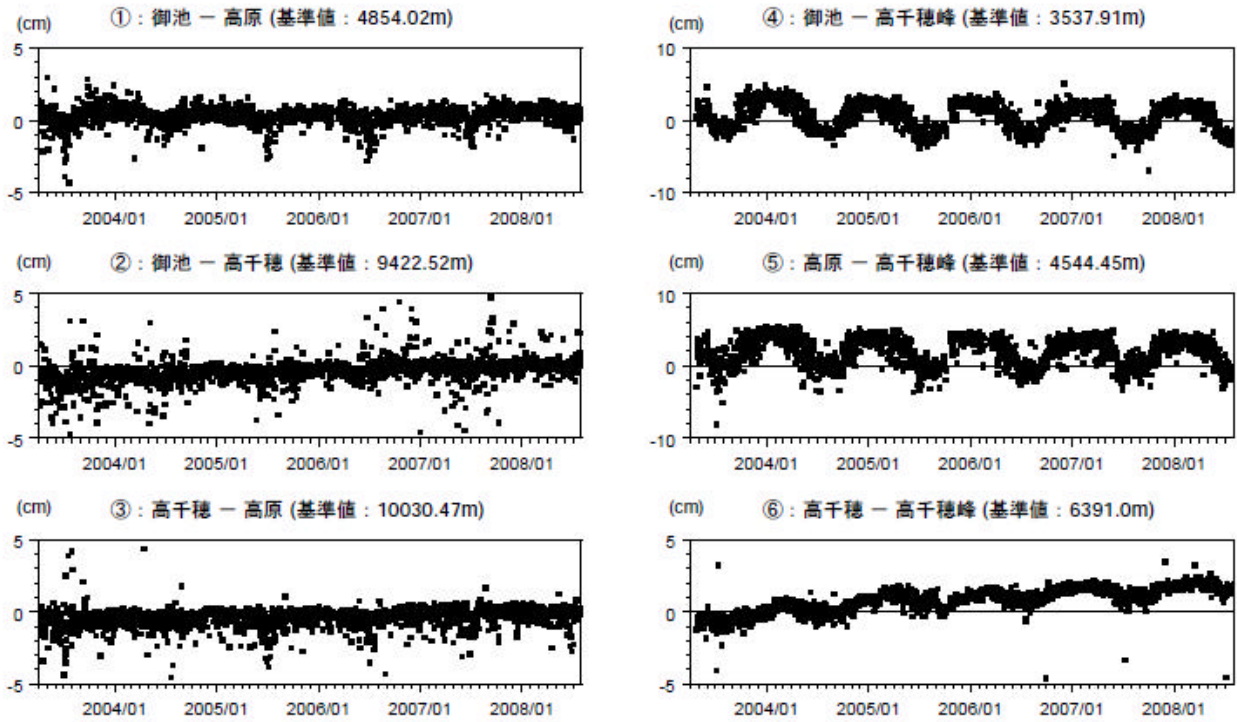


図8 霧島山(御鉢) GPS連続観測による基線長変化(2003年4月~2008年7月)
GPS連続観測では、火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。

*概ね1年周期の大きな変動は季節変化によるものです。これは観測点間の標高差が大きいほど顕著に現れます。

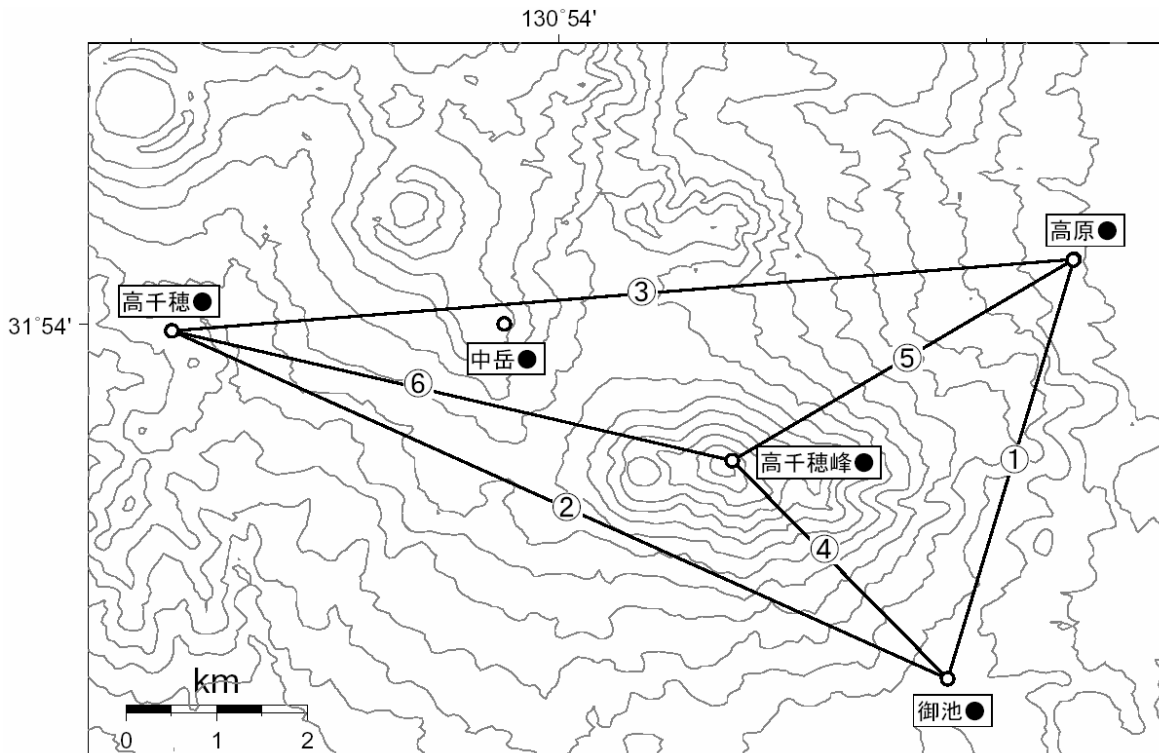


図9 霧島山(御鉢) GPS連続観測点と基線番号
御鉢を囲んだ観測点の基線による観測を行っています。この基線は図8の ~ に対応しています。